

新宿区立

新宿中央公園 ビオトープに行ってみよう！

トンボやカエルなどの生きものたちに会いにビオトープ(※)に行ってみよう！

新宿中央公園ビオトープでは、都市でなかなか見ることが出来なくなったバッタやチョウなどのさまざまな生きものや草花たちに会うことができます。

池にはメダカやオタマジャクシがくらし、田んぼでは年間をとおして稲の生長を見ることができます。

どんな生きものたちに会うことができるかな？

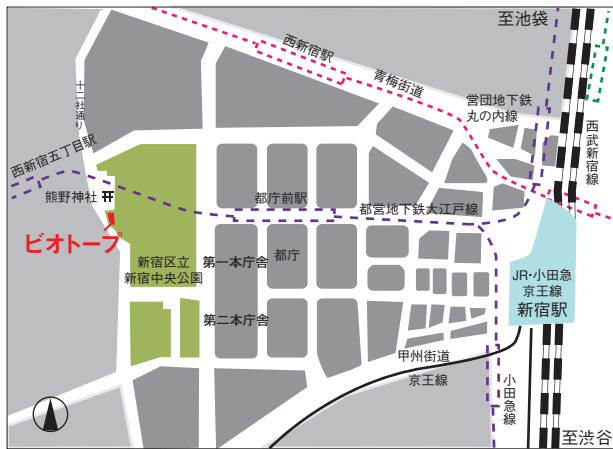
※ビオトープ(Biotop,ドイツ語)とは、ドイツで始められた取り組みで、生きもののからす空間のことです。
「Bio(いのち)+Topos(場所)」を組み合わせてつくられた言葉です。

ビオトープ観察の3原則

以下の3つを守って、観察しよう。

1. **そ〜っと静かに観察しよう!**
さわぐと生き物がいなくなっちゃうよ。
2. **生き物(ザリガニ、カメなど)を持ち込まない。**
今ある生態系がくずれないようにしよう。
3. **生き物や植物はとらない。**
他のみんなが観察できるように残しておいてあげよう。

◆案内図◆

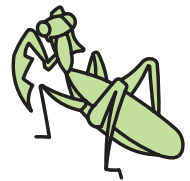


所在地
新宿区立新宿中央公園内
(新宿区西新宿2-11)



◆概要◆

面積 約1,000m²
開設 平成15年4月
種類 草木類 180種
昆虫類 94種
(平成21年3月末現在)



新宿区では、「生き物と共生し、ふれあえる都市・新宿」を目指し、平成14年に東京都の下水道工事跡地でビオトープづくりに取り組みました。公募によって集まった区民の方たちとともに、「新宿中央公園ビオトープの会」を結成。勉強会を行いながら、計画案を作成し、平成14年12月から15年3月にかけて工事を行いました。会の方たちと共に、植栽を行い、平成15年4月に完成しました。

開設以来、閉鎖による植生管理を行ってきましたが、平成20年4月より一般開放しました。

<交通>

JR・小田急・京王線 新宿駅から徒歩12分
東京メトロ丸の内線 西新宿駅から徒歩7分
都営大江戸線 都庁前駅から徒歩2分

<開放日> 毎週水～日曜日

<開放時間> 4～10月 午前9時～午後5時
11～3月 午前9時～午後4時

※生きものを守るため、夜間及び毎週月・火曜日は閉鎖しています。

◆お問い合わせ◆

新宿区みどり土木部みどり公園課みどりの係

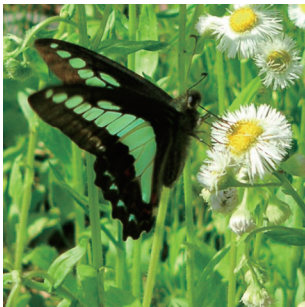
電話番号 03(5273)3924

◆園内マップ◆



◆ビオトープで会える生きものたち◆

写真提供: 新宿中央公園ビオトープの会



アオスジアゲハ
 (アゲハチョウ科)
 観察時期: 5~10月
 生息地: 林の周辺
 クスノキなどの葉を食べる



ショウリョウバッタ
 (バッタ科)
 観察時期: 7~10月
 生息地: 草地
 緑色や褐色の体で、「キチキチ」となく



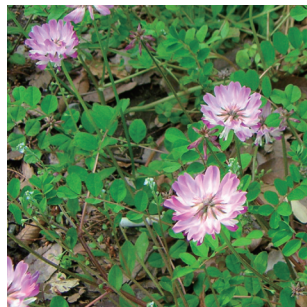
ニホンアマガエル
 (アマガエル科)
 観察時期: 5~7月
 生息地: 草地、池周辺
 「クワッ、クワッ」となく



オオシオカラトンボ
 (トンボ科)
 観察時期: 5~9月
 生息地: 池や沼
 体はオスが青白くメスは黄色



ニワゼキショウ (アヤメ科)
 花期: 4~6月
 生育地: 草地
 北アメリカ原産で、雑草が野生化したもの



ゲンゲ(レンゲソウ) (マメ科)
 花期: 4~5月
 生育地: 草地
 蓮(はす)の花びらに似ている



フキ (キク科)
 花期: 2~3月
 生育地: 山野
 早春に伸びる若い花茎がフキノトウ



スギナ (トクサ科)
 孢子: 3~4月
 生育地: 湿気の多い場所
 スギナの孢子茎のことを「ツクシ」と呼ぶ